

No. 9-1

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 09 - 1

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		9		作成日		27年 4月 24日				
事務事業名		戦没者追悼式						シート作成部署						
総合計画上の位置付け	基本施策	6 語らいのあるまち						課名	地域福祉課	係名	社会福祉係			
		6-3 人権を尊重するまちをつくる									シート作成者			
	施策	6-3-1 人権尊重社会の形成						予算費目	会計	一般				
		① 人権教育・啓発の推進								3				
個別計画名	住民団体						項目			項目	1			
	行政との共催事業										1			
	イベント							1						
住民との関わり		住民団体・行政との共催事業・イベント												
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）									
	戦没者遺族会員及び平和を祈願する者				大戦における戦没者及び戦災者の追悼及び平和に対する意識の高揚を図る。									
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）				先の大戦における町内戦没者並びに戦災に起因して亡くなられた全ての方に対して哀悼の誠を捧げ、その冥福と平和を祈願する。									
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 12年度		～		平成 年度（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
根拠法令・要綱等														
		平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）						
全体事業費（千円）A+B		925			935			935						
財源内訳	国庫支出金		0			0			0					
	県支出金		0			0			0					
	地方債		0			0			0					
	その他特定財源		0			0			0					
	一般財源		331			341			341					
直接事業費（千円）A		331			341			341						
人件費（千円）B		594			594			594						
内訳	一般職員（人・千円）		0.09 人		594		0.09 人		594		0.09 人		594	
	臨時職員（人・千円）		人		0		人		0		人		0	
成果指標	成果指標名				単位		26年度		27年度		28年度			
							目標		実績		（目標）		（目標）	
	①		戦没者追悼式参加人数		人		140		104		140		140	
	②													
③														
説明														

事業名	戦没者追悼式	シート作成課	地域福祉課
-----	--------	--------	-------

一次評価者	地域福祉課長	二次評価者	生活福祉部長
-------	--------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 <input type="checkbox"/> 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 <input type="checkbox"/> 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 <input type="checkbox"/> 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 <input type="checkbox"/> 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 国や県のサービスと重複している。 <input type="checkbox"/> 7. 民間のサービスと競合している。 <input type="checkbox"/> 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	国・県等においても実施されているが、本町で開催することで身近な地域の住民とともに戦没者の追悼と恒久平和を祈願することができる。	
有効性	<input type="checkbox"/> 1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 <input type="checkbox"/> 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 <input type="checkbox"/> 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 <input type="checkbox"/> 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	過去の過ちを繰り返すことなく、恒久平和確立への意識向上を図ることができる。	
達成度	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 <input type="checkbox"/> 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標を達成していると思う。 <input type="checkbox"/> 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	戦没者遺族の方々等と恒久平和への意識を共有することができるが、更に多くの住民の参加を促す必要がある。	
効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 <input type="checkbox"/> 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 <input type="checkbox"/> 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 <input type="checkbox"/> 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 <input type="checkbox"/> 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	戦没者遺族の方々への周知など参加の呼びかけは、遺族会の協力を得ることで連携と次代を担うものへの伝承に効率性が発揮される。	

本事務事業の実施適切性の説明

戦争という過去の過ちを繰り返すことなく、恒久平和を祈願する目的で事業を実施しています。本事業は、今後も必要な事業であり、評価については3年に1度実施することとします。なお、遺族会との協議により、必要に応じ見直しも検討する。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	拡大
今後の改革・改善目標	遺族は今後ますます減少していくので、評価の在り方も問題があることから遺族会と協議等を行い、今後の在り方を検討していく。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	拡大
コメント	戦没者等の追悼、遺族の心労、恒久平和を願うため継続は必要であるが、実施方法は検討する必要がある。						

二次評価に対する課の考え方
 遺族会の事務局は東員町社会福祉協議会が担っており二重行政のおもむきもあり、開催方法を含めた検討が必要である。

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	5	その他、参画・協働に関して、制度上、運営上、留意していく
------------	------	----	------	---	------------------------------